



この度は、高阜ロータリークラブの例会にご案内いただきありがとうございます。また、日頃より、本校を始めとした、高阜町内小中学校の学校教育に対し、ご理解とご協力を賜り、ご支援いただいておりますことに厚く御礼を申し上げます。今年度は、本校にたくさんの児童用図書をご寄贈いただき誠にありがとうございます。子ども達の教育活動や読書活動の一層の推進のために、有効に活用させていただきたいと思っております。

令和5年度 学校経営の方針について  
 本校の学校教育目標は  
 ○かしこく(進んで勉強し、深く考える子ども)  
 ○やさしく(思いやりの心を持ち、みんなと協力できる子ども)  
 ○たくましく(体をきたえ、健康な生活ができる子ども)です。  
 今年度も、学校経営の重点として「笑顔と感動が生まれる学校」を掲げました。 そのために

- ◇一人一人の学びを保障 = 「できる」「わかる」授業づくり
- ◇明るい学校 安全・安心な教育環境 = 教育環境の整備充実ICT
- ◇温かい人間関係 = コミュニケーション力の育成 縦割り活動地域交流教育相談
- ◇あきらめず挑戦する心 = 自立 自己管理能力 マネジメント力

これらを大切にしたい教育活動を実践していきます。  
 今年度は、コロナ禍も終息しつつあることから、子ども達にたくさんの「リアル」を体験させたいと考えています。どんなにデジタルが進化しても、リアルに勝るものはありません。

本物や実物を見ること、本質を知る人の話を聞くこと、実物に触れること人と関わりコミュニケーションを取ることで、そのほかにも、沢山の「リアル」を体験する中で、子ども達が感じ、学んだことを大切にしながら、教育活動の充実を図っていきたく思います。

(1) 学ぶ心を育む(かしこく)  
 校内研究を中核に、複式や少人数のよさを最大限にいかした授業づくりに努めます。

個に応じた指導と反復練習の徹底、そして、学習リーダーを中心に自分達で学習を進める力を育成します。本校は完全複式のため、教師が一方の学年を教えている間、片方の学年に「待ち」の時間が生まれます。それゆえに自分達で授業を進め、教師が「教えすぎない」ことで、自分で考え、学びに向かって行動する「自立した学習者」を育てていきます。

GIGAスクール構想のタブレット活用も順調に進んでいます。校内での研修も自主的に企画するなど、先生方もICT活用に前向きです。二井宿小は子どもの人数が少なく、同学年との交流に限られています。今年度は、他校や他地区の児童とタブレットでの交流も試みるなど、ICTを通して子ども達の世界を広げていきたいです。

また、集会やスピーチ会、昔語りや読み聞かせ等、様々な場面で自分の意見を述べる機会を設け、言語表現活動の充実を図っていきます。校内研究でも目指している「根拠を明らかにして考える説明する 学び合う」ことができるよう、日常的に、言語活動の充実を意識した教育活動を展開していきます。

読書活動の推進については、昨年度の学校評価で達成率が45.8%と、他の項目に比べ格段に評価が低く、本校の大きな課題です。今は、子どもにとって魅力的な娯楽がたくさんあります。しかし、ゲームやYouTubeとは違い、文字を通してじっくりと自分の世界に浸る時間は、心や感性を豊かに耕すために必要な時間だと自覚しています。今年度は、試みとして全校生で「週末読書」に取り組みます。週末は本を借りて家に持ち帰りますので、各家庭でも、親子で本を手に取り、読書を楽しむ時間を設けていければと思っています。

(2) 豊かな心を育む(やさしく)  
 本校は小規模校であるため、全校生で行う活動や、全員が主役になる機会に恵まれています。そうした中で、自然と育まれる「思いやり」や「やさしさ」

は、子ども達の心に、静かに浸透しています。二井宿小の子ども達は、みな優しく、礼儀正しく、どこに出しても恥ずかしくない子どもばかりです。これは学校教育のみならず、地域と家庭の教育力の賜物だと思います。

二井宿小に「いじめ」は、ほぼありません。子ども同士のトラブルや心のすれ違いはたまに起こりますが、「いじめ」は0と言っても過言ではありません。いじめの定義には、平成25年に制定された「いじめ防止対策推進法」には次のように明記されています。「児童と一定の人間関係にある人が、心理的・物理的な影響を与える行為で、当該児童が心身の苦痛を感じているもの(インターネットを含む)」です。つまり、好意やふざけあいであっても、心身の苦痛を感じていれば「いじめ」と認定されます。本校でも、こうした考え方のもと、子ども一人一人を丁寧に見取り、対応するよう心がけてきました。これからも、学校・家庭・地域が連携し、いじめ0の学校をめざしていきたいと思っております。また、「あいさつ」については学校評価でも、達成率が73.1%と読書に次いで低く、課題です。

昨年度子ども達は、11月と12月の2回、児童会で「よりよい生活づくり」のための全校集会を行い、みんなであいさつについて考えました。「声が小さい」「地域の人にはうまくできない」「みんながやらないとできない」など、子ども達が感じている課題が出されました。話し合いを通して、あいさつへの意識が高まりました。すぐに改善とはいかないと思いますが、「させられる」あいさつではなく、「自分から進んで」「気持ちよく」あいさつができる子どもになってほしいと願っています。身近な大人が良いお手本を見ることが何よりの指導になるはずで、今年度も、学校・家庭・地域が一体となって、挨拶の推進に取り組んでいきたいと思っております。

(3) 健やかな心を育む(たくましく)  
 養教を中心に、家庭と連携した生活習慣の主体的な形成をめざして取り組んでいます。生活リズムやメディアコントロールの改善のために、5月・8月・1月の年に3回と高中のテスト期間に合わせ、家庭と連携し、カードを使って取り組みました。各家庭のご協力もあり、生活リズムやメディアコントロールに対する子ども達の意識も高まっています。

今年度も養教が、各クラスで保健指導を行う予定です。担任とは違った専門的な視点で、それぞれの学年のテーマに合わせた、わかりやすい指導は子ども達にも好評です。体力、運動能力については、全国や県の平均と比べ、全体的に運動能力が低いことが課題です。特に、短距離走の走力は、すべての学年で、全国・県平均よりも低いという結果でした。また、全体的に肥満傾向がやや多い実態です。これらの結果に、コロナ禍の影響で、思ったよりも子ども達の「運動離れ」が進んでいると感じました。

二井宿地区や他地区のスポ少に所属し、日常的に運動しているお子さんもいます。興味や関心は個々の子どもで違うため、運動を強要することはできませんが、学校で、運動量や運動の機会を増やすなどして、体を動かす楽しさを知ってほしいと思っております。

(4) ふるさとを愛する心を育む  
 本校の特色ある教育活動の一つに、地域の教育力を生かした食農教育があります。地域の先生方にご指導いただき、農作業を通し、食と命の大切さを学んでいます。地域の先生方のご協力は大変ありがたく、二井宿小の特色として今後も継続していきたい活動です。また、「里山めぐり」も二井宿小の特色です。里山に生きている二井宿の子ども達が、自分たちが住む地域について体験しながら学び、故郷を愛する心を育んでいきたいと思っております。今後は実施の在り方を検討し、持続可能な方法で継続していきます。

他にも、読み聞かせ、昔語り、見守り隊や地域の方による安全対策へのご協力など、地域と学校は深くかかわりあいながら結びついています。地域の方々のご協力で深く感謝し、今年度もご支援いただきながら、より一層地域と共にある教育活動を推進していきます。

おわりに  
 今年度は創立150周年を迎え、地域や保護者の皆様にご協力いただきながら、記念行事等の準備も少しずつ進んでいます。子ども達がこの、記念すべき150周年を「自分事」として迎え、この節目の年をしっかりと心に刻むことができるよう、学校・保護者・地域が一体となった教育活動を展開していきたいと思っております。地域の特色を生かした体験活動の充実を図りながら、郷土と母校に誇りを持って生きる子ども達を育てたいと考えています。今後とも、学校教育へのご協力とご支援を何卒よろしくお願いいたします。

本日の例会 [ 2647 th ] 2023. 5. 18  
**移動例会** すし例会 ゆこの寿司

前回の例会 [ 2646 th ] 2023. 5. 11  
**図書贈呈** 二井宿小学校 校長 鈴木久仁子 氏

- ・ 点鐘12時30分 大河原 章 会長
- ・ 国 歌 君 が 代
- ・ ローターソング 奉 仕 の 理 想
- ・ ソングリーダー 青 木 道 春 君
- ・ S A A 加 藤 由 香 里 君

会長あいさつ

大河原 章 会長

皆さんこんにちは。まず初めに本日のゲストスピーカーをご紹介します。二井宿小学校 校長鈴木久仁子様です。後ほどスピーチと図書贈呈を行いますのでよろしくお願い致します。

本日は恒例となりました図書贈呈例会です。当クラブは長年にわたり町内各小学校に設置していただいた「高阜ロータリー文庫」に図書を贈呈しております。今年も本の選定には鈴木征治会員にご協力いただき、より良い本を選定していただきました。ありがとうございました。

今年のゴールデンウィーク、各観光地はほぼコロナ以前に戻ったような賑わいでした。道の駅も5日までは連日満車状態でしたし、夜の泊りの車もいっぱいでした。新型コロナが5類に移行し平常に戻った世の中がどのように変わっていくのか期待したいところです。「戻った人出、戻らぬ人手不足」私にとっては悩ましい課題が残りそうです。

それでは、ごゆっくりお食事をお取りください。

次回の例会 [ 2648 th ] 2023. 5. 25

RI 第2800地区 パストガバナー  
**和 田 廣 君**  
 (南陽東RC)

《委員会報告》 広報情報委員会  
 福島 悟 副委員長

・ロータリーの友4月号 縦書き4頁～8頁  
 第1611地区新湊RC50周年記念講演で東京大学医学部付属ゲノム診療部部長の織田克利教授の講演内容が掲載されておりますぜひご一読ください。

**スマイルBOX**

・長男が小学生時に鈴木校長先生にお世話になりました。・図書贈呈を撮影に来られた方は次男の義理の父です。・駅伝で南陽東置賜が11連覇を達成しました。  
 大河原 章 君

・日本文芸家協会初代会長より広介先生の縁で今回も図書を購入いたしました。・ロータリークラブも社会貢献活動を行っていることのPRにと町広報をお呼びしました。

鈴木 征治 君

・鈴木校長先生とは隣組です。今日はありがとうございます。

吉田 弘二 君

・青木さんをお願いしてホームページを作成中です。出来上がりが楽しみです。

小平 和広 君

・昨日目の前で交通事故が起きました。119番したのですが、やり取りをしている時間がすごく長く感じました。皆様も事故にはお気を付けてください。

相田日出夫 君

・鈴木校長先生には娘が小学校時にお世話になりました。

鈴木 司郎 君

《出席報告》  
 会員数 44名 出席者数 20名 出席率 45.45 %  
 前回修正44名 出席者数 28名 出席率 63.64 %

《メイクアップ》  
 桑島 周士 君・高梨 正章 君・吉田 弘二 君  
 皆川 賢治 君・佐藤登与美 君・金子 良弘 君  
 高橋 雅明 君・島崎 裕司 君・大塚 栄一 君